

若狭ネット

第107号 2007年 7月21日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！」

げんぱつ」連絡会(〒915-0235 越前市不老町6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原発に
反対する大阪の会(〒583-0005 藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)

ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

新潟県中越沖地震で原発の耐震設計を上回る揺れ

**すべての原発の運転 建設を即刻停止せよ！
関西電力は大飯 高浜 美浜原発の運転を止めよ！
M7.3の直下地震に耐えられない 原発は閉鎖せよ！
原子力安全委員会は新耐震指針を即刻見直せ！**

新潟県中越沖地震はマグニチュード6.8の規模であり、余震域が東京電力柏崎刈羽原発の直下に広がっていることが、気象庁などによる解析でわかりました。東電広報部も今回の地震で震源断層が柏崎刈羽原発の直下に広がっていること認めています。まさに、「原発直下地震」が現実には起きたのです。しかも、耐震設計で想定してきたマグニチュード6.5を超える規模でした。東電のホームページでは「活断層の上には原発は立てていません」と宣伝していますが、海底活断層の断層面が原発直下まで広がっており、真っ赤な嘘でした。耐震設計審査指針は昨年9月に改定されましたが、その案を検討する耐震指針検討分科会では、「M7.3以下の地震は国内のどこでも起こりうるから、この規模の地震を直下に想定して原発の耐震性を見直

さないといけな」という地震学者の意見が封じ込められました。そのツケが今、現実に戻ってきているのです。今回の地震を教訓として、新耐震指針そのものの見直しが急務です。

3月に能登半島地震、7月に新潟中越沖地震が起きています。いずれも耐震設計の想定を超える地震動が観測されています。いつ次の「想定外の地震」が起こるのかわかりません。すべての原発を即刻停止させましょう。そして、M7.3の直下地震に耐えられない原発は閉鎖させましょう。

私たちは関西電力に対し、大飯、高浜、美浜の全原発の停止を求めます。これらの老朽原発が一層地震に弱いことは明白です。直下地震に耐えられないこれらの原発の閉鎖を求めていきましょう。

関西電力の挑発！！ゆるせません！



美浜3号は7月9日に調整運転に入り

8月9日の事故3年目に営業運転入りをねらう！？

ゆるすな！深い悲しみを逆なでする関電の挑発を。

8月9日(木)午後6時～ 関電本社へ申し入れを行きましょう

これでは、また事故が起こる！

美浜3号事故は、3年前の8月9日に起こりました。破断した配管が、7月28日ごろに『点検』であったことを見つけ、8月5日には、点検担当社員が、上司(係長、課長)に報告をしています。原発を統括する若狭支社は、未点検箇所への報告書は、「8月上旬までに提出せよ」としているのに、事故が起こった8月9日になっても、まだ正式の報告書ができていなかったの、美浜発電所長も、若狭支社社長も『点検』だとは知らなかったと、言い逃れをしています。大飯の原発で予想以上に配管が薄くなっていたため、あわてて未点検箇所を点検するように指令したにもかかわらず、未点検箇所を発見した時点で上の責任者に口頭報告すらしていなかったなど、到底信じられません。

また、おどろくべきことに8月14日から定期検査が始まるので、定期検査の作業員は、この日に合わせての準備のために入り、そして11名もの死傷者が出たのです。

8月5日に運転を停止しておれば、こんな悲惨な事故は起こらなかったと悔やまれます。

多くの作業員が原発内に入るときは、運転を停止するという規則を確立しないまま、今までどおり原発を動かし続けているのです。関電が、長期連続運転、大幅定期検査短縮など経済性を最優先するとき、また原発事故は起こると想像するのは私たちだけではしょうか。

「事故の核心部分」の12日間もの間、何をしていたのか

私たちは、7月12日(木)午後6時から関電本社交渉を行いました。

関電によれば、美浜3号炉事故(死傷者11名)について、事故の12日前の2004年7月28日ごろから『点検』箇所をチェックしていました。関電の保修担当者2名がチェック箇所5000件を調べました。そして、事故の4日前の8月5

日には、『破断部位が28年間未点検であり8月14日から始まる点検のリストに入っていることを確認』し、課長、係長に口頭報告をしたようです。しかし、「8月上旬までに若狭支社へ報告するように」との作業指示がでていたにもかかわらず、8月9日に事故が起きた時点でも、まだ報告書は上司にあがっていなかったというのです。

美浜3号事故の真相解明と事故を未然に防げなかった関西電力の体質を改善することこそが最優先課題なのですが、今回の交渉では、事故の真相の解明にはほど遠く、ますます疑惑は高まってしまいました。

関電は、美浜3号を今すぐ止めたら大損益になる。8月14日には、定期検査が始まる。28年間未点検であるが、今までもったのだからこのまま様子を見よう」と放置したのではないかと、疑念は晴れることはありません。

この8月9日には美浜3号事故から3周年を迎えます。こともあろうに関電は、この日に営業運転を目指して作業をすすめているのです。11名の死傷者の深い悲しみを逆なでする関電の挑発には驚くばかりです。事故の核心部分が不透明なままでは、美浜3号の運転再開は許されません。私たちは、8月9日に関電本社に申し入れを行い、美浜3号の運転再開に抗議するとともに、新潟県中越沖地震を踏まえ、大飯・高浜・美浜原発の運転停止を求めます。皆様のご参加をお願いします。

9月2日(日)には「美浜3号事故3年を迎えて」の講演討論集会を大阪で開きます。事故は一体何を明らかにしたのか、事故原因は解明されたか、事故を繰り返さないためにどうすればよいか、をテーマに話し合います。事故3年を迎えた美浜町の今」を松下さんに語って頂きます。原発にたよらない町おこし＝「どんぐり倶楽部」の活動についても現地取材のビデオ上映を行います。新潟県中越地震と耐震性に関する特別講演も予定しています。午後1時半から、大阪のヒューマインドでお会いしましょう。

今後の予定

8月 5日(日) 午後 2時 ~ 4時

被爆82周年原水爆禁止世界大会 ヒバクを許さないつどい パート8

すべてのヒバクシャを補償せよ!

場所 :RCC文化センター (広島市中区橋本町 5 - 11 TEL082 - 222 - 2277)

8月 9日(木) 午後 6時 ~ 関西電力本社申し入れ
美浜3号事故3年と新潟県中越沖地震を踏まえ、
関西電力の原発の全面停止を求めよう

場所 :関西電力本社 (地下鉄四つ橋線 肥後橋 駅下車 徒歩 5分)

9月 2日(日) 午後 時半 ~ 5時
美浜3号事故3年を迎えて講演討論集会

基調報告 :美浜3号事故が明らかにしたもの
美浜町現地から:「原発にたよらない町おこし」

松下照幸さん (森と暮らすどんぐり倶楽部)

特別報告 :新潟県中越沖地震と原発の耐震性

長沢啓行さん (大阪府立大学工学部教授)

場所 :ヒューマインド 研修室 4

(JR環状線 芦原橋 駅下車 徒歩 7分)



9月 23日(日) 午前 10時 ~ 午後 3時
戦争はいや!核なんかいらへん! 2007 フェスティバル

場所 : 長居公園 (児童公園) (地下鉄 長居 駅から徒歩 5分)

9月 30日(日) 午後 1時半 ~ 4時半

JCO事故を忘れない! ストップ・六ヶ所再処理! げんぱついらない! 市民の集い

場所 :ドーンセンター 視聴覚室 (地下鉄 矢満橋 駅から徒歩 5分)

編集後記

- ・ 美浜町への新聞折り込みの2回目をしました。美浜町の松下さんや石地さんたちの力です。全国からの新聞折り込み基金で行うことができました。ご協力に感謝します。今後も粘り強く新聞折り込みをしていきます。新聞折り込み基金にご協力をお願いします。 折り込み用紙をいれています。よろしくお願ひします。 きよ子